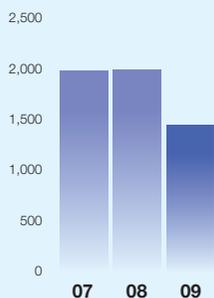


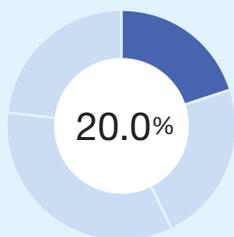
営業の概況

電子材料

売上高推移
(億円)



売上高構成比
2009年3月期

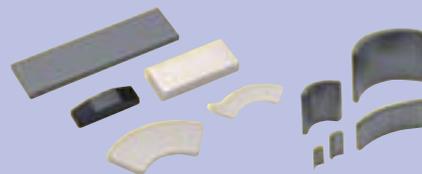
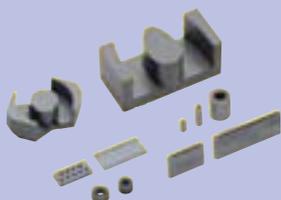
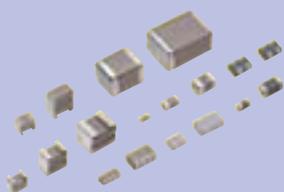


当製品区分は「コンデンサ」、「フェライトコア及びマグネット」の2つで構成されます。

当製品区分の売上高は、1,451億11百万円(前期2,001億1百万円、前期比27.5%減)となりました。

「コンデンサ」:売上高は前期と比較して減少しました。主要品目である積層セラミックチップコンデンサは、主要製品(パーソナルコンピュータ(以下、PC)、AV/ゲーム、携帯電話、カーエレクトロニクス)向けで販売が減少しました。需要減退、価格下落及び米ドルに対する円高の影響を受けたことが減収の要因です。

「フェライトコア及びマグネット」:売上高は前期と比較して減少しました。フェライトコアとマグネットがいずれも各々の主要製品向けで減収となりました。



コンデンサ

電気を蓄える機能を持った回路素子で、セラミックス誘電体と内部電極となる金属とを交互に積層し、焼成したものです。

小型で高周波特性が良いため、携帯電話や薄型テレビ等に大量に使用されています。

フェライトコア

酸化鉄にマンガン、ニッケル、亜鉛等を配合して焼結した酸化物系磁性材料です。

高周波での損失が少ないため、電源回路のトランスやコイル等の磁心に多用されています。

マグネット

当製品は大きくフェライト磁石と金属磁石で構成されています。

フェライト磁石は、酸化バリウムや酸化鉄を主成分とする原料を成型して焼結したものです。

金属磁石は、サマリウムやネオジム等の希土類元素と鉄を主成分とする永久磁石です。

電子デバイス

当製品区分は「インダクティブデバイス」、「高周波部品」及び「その他」の3つで構成されます。

当製品区分の売上高は、1,661億64百万円(前期2,090億89百万円、前期比20.5%減)となりました。

「インダクティブデバイス」:売上高は前期と比較して減少しました。特に、コイル製品は薄型テレビ、ゲーム、携帯電話、カーエレクトロニクス向け、EMC製品は携帯電話、カーエレクトロニクス向け、トランスは電源製品向けの販売が各々減少したことが主な要因です。

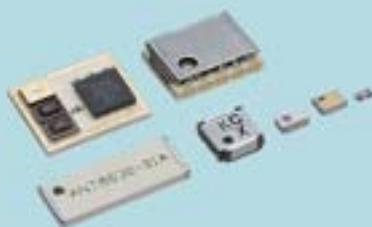
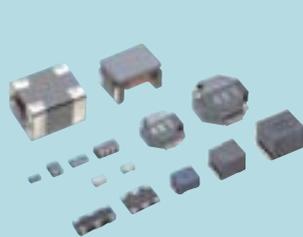
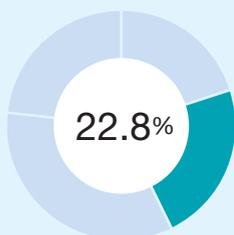
「高周波部品」:売上高は前期と比較して減少しました。特に、PC向けの販売が減少したことが主な要因です。

「その他」:売上高は前期と比較して減少しました。センサ・アクチュエータが減収、電源が一部製品の終息と半導体を含む製造設備市場向けで各々販売が減少したことが主な要因です。

売上高推移
(億円)



売上高構成比
2009年3月期



インダクティブデバイス

当製品は大きくコイル(インダクタ)、トランス、EMC対策部品で構成されています。

コイル(インダクタ)は、フェライトコアに導線をらせん状に巻いた巻線タイプ、印刷工法によってパターン形成した積層タイプのほか、薄膜形成技術によりパターン形成した薄膜タイプがあります。

トランスは共通の磁気回路を持つ2つ以上のコイルを組み合わせて、電磁結合により交流電圧の昇降またはインピーダンスの変換を行うものです。

EMCはElectromagnetic Compatibilityの略で、電子機器から発生する電磁ノイズの問題を解決するための電子部品がEMC対策部品です。

高周波部品

主に携帯電話等の高周波回路に使用される部品です。

アイソレータ、VCO、ダイプレクサ等、多種の製品を取り扱っています。

その他

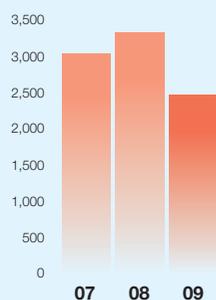
当製品は大きく電源製品、センサ・アクチュエータで構成されています。

電源製品には、交流(AC)入力を直流(DC)出力に変換するスイッチング電源、逆に直流入力を交流出力に変換するDC-ACインバータ、直流電圧の昇降圧を行うDC-DCコンバータがあります。

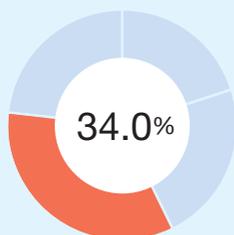
センサ・アクチュエータには、静電気対策に有効なバリスタ、温度・湿度・トナー濃度を測定するセンサ、圧電プザーに代表されるアクチュエータが含まれます。

記録デバイス

売上高推移
(億円)



売上高構成比
2009年3月期



当製品区分は「HDD用ヘッド」、「その他」の2つで構成されます。

当製品区分の売上高は、2,472億33百万円(前期3,347億34百万円、前期比26.1%減)となりました。

「HDD用ヘッド」: 当期は前期比でHDD用ヘッドの需要が減退しました。この結果、当社のHDD用ヘッド販売数量は前期比で減少、さらに価格下落及び米ドルに対する円高の影響もあり、売上高は前期と比較して減少しました。

「その他」: 売上高は前期と比較して増加しました。2007年11月に子会社化したHDD用サスペンション事業の売上高が、当期から本格的に寄与したことが主な要因です。



HDD用ヘッド

HDD用ヘッドは、HDDにおいて信号をハードディスク(メディア)に書き込んだり読み出したりするものです。

記録密度の向上に伴い、信号の読み取りはGMR (Giant Magnetoresistive) 素子から、より高感度のTMR (Tunneling GMR) 素子に置き換わっています。また、信号の書き込みは、主流が長手記録方式から垂直記録方式に変わっています。

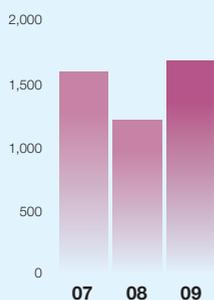
その他

当製品区分は、前述3製品区分を除くすべての製品から構成されます。

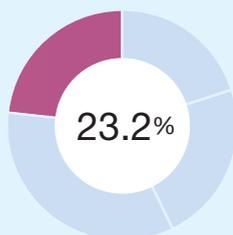
当製品区分の売上高は、1,688億92百万円(前期1,223億61百万円、前期比38.0%増)となりました。そのうち、EPCOSグループの売上高は679億83百万円です。EPCOSグループが製造、販売を行う製品以外の代表的な製品は〈記録メディア〉、〈電波暗室〉、〈メカトロニクス(製造設備)〉及び〈エネルギーデバイス(二次電池)〉です。

エネルギーデバイスの売上高は増加しましたが、記録メディア、電波暗室、メカトロニクスの売上高は減少しました。

売上高推移
(億円)



売上高構成比
2009年3月期



(注) 記録メディア製品部門の売上高を含めています。



データストレージテープ

大容量コンピュータのデータバックアップやアーカイブ用途のメディアです。



メカトロニクス

外販用の製造設備です。



エネルギーデバイス

電解質にゲル状の高分子(ポリマー)を使用した二次電池(充電して繰り返し使える電池)です。



電波暗室

電磁波ノイズの測定のため、外部から遮断された電波環境を設定する構築物です。